取扱説明書

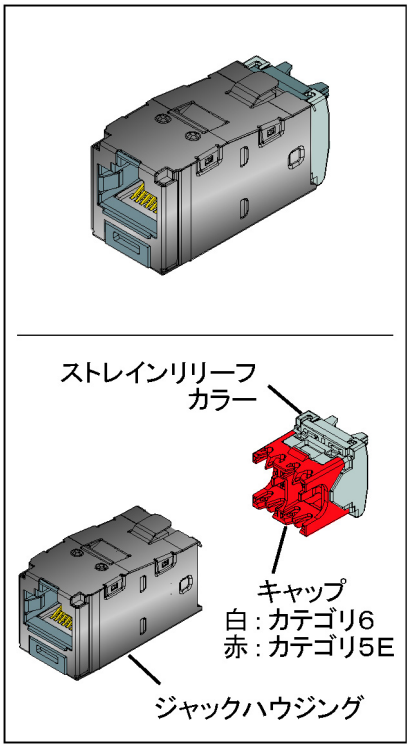
06001C

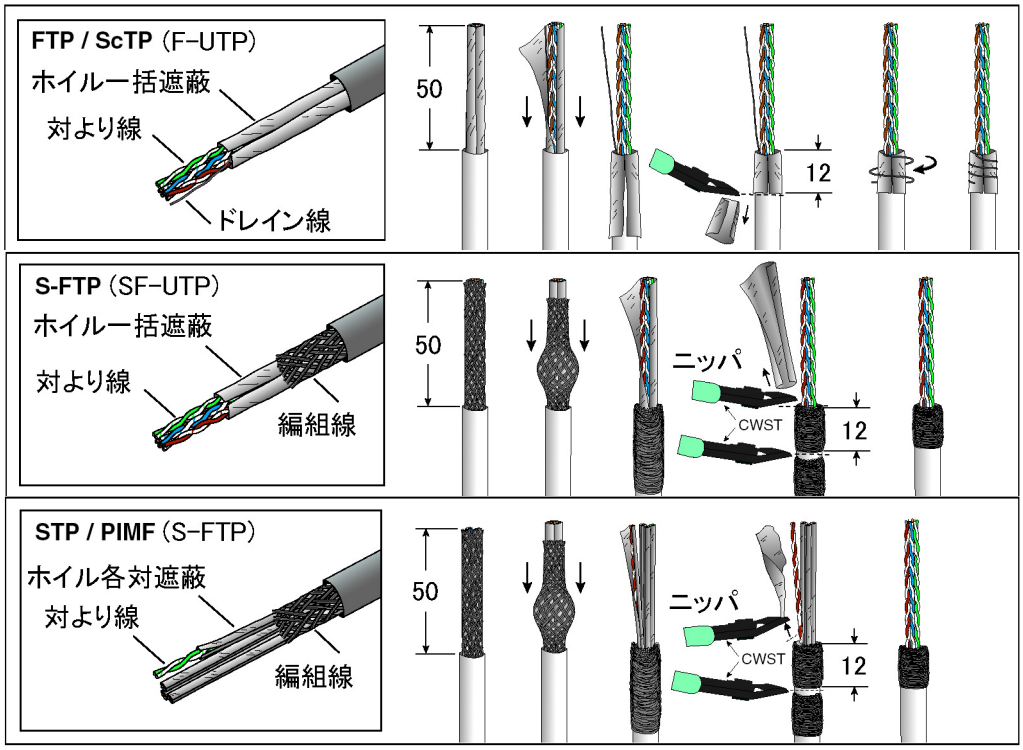
TG スタイル　シールド付モジュラージャック

Part Numbers: CJS5E88TG/Y,CJS688TG/Y

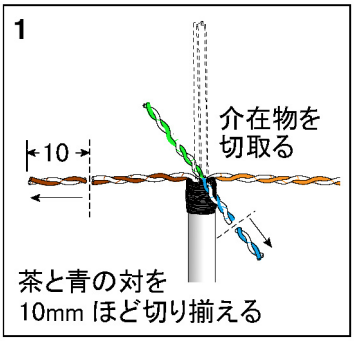
©Panduit Corporation Japan Branch

取扱説明

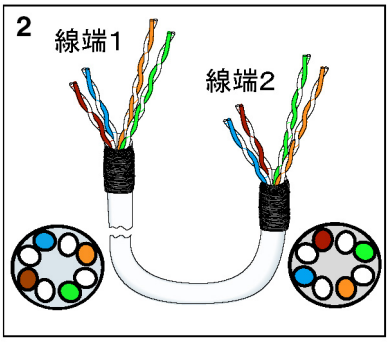




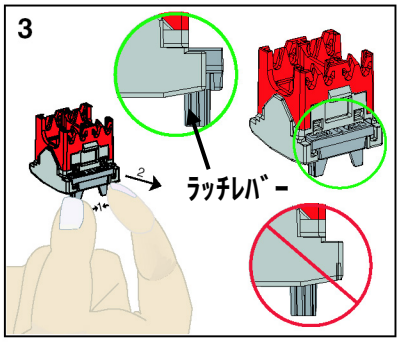
成端手順



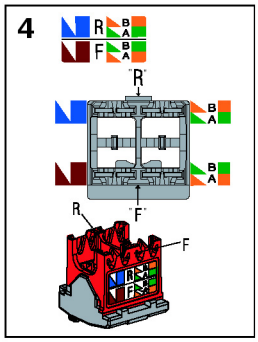
シールドの構造別での前処理を行いツイストペアの成端に進む



線端１と２では対の順番が時計方向と反時計方向になる



ストレインリリーフが開放されるまでラッチレバーが解除するように操作しストレインリリーフを移動する



色識別シールのＦサイドとＲサイドを確認する

版	制 定	作 成	承 認
03	2006 年 8 月 30 日	山之内	新 田

取扱説明書

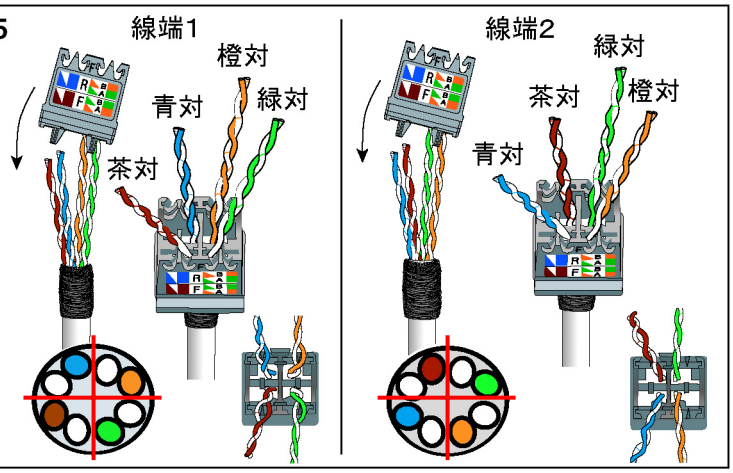
06001C

TG ｽﾀｲﾙ　ｼｰﾙﾄﾞ付ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ

Part Numbers: CJS5E88TG/Y,CJS688TG/Y

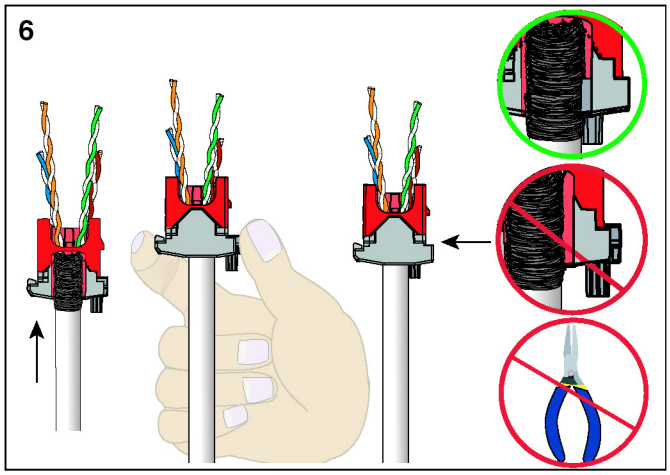
©Panduit Corporation Japan Branch

5



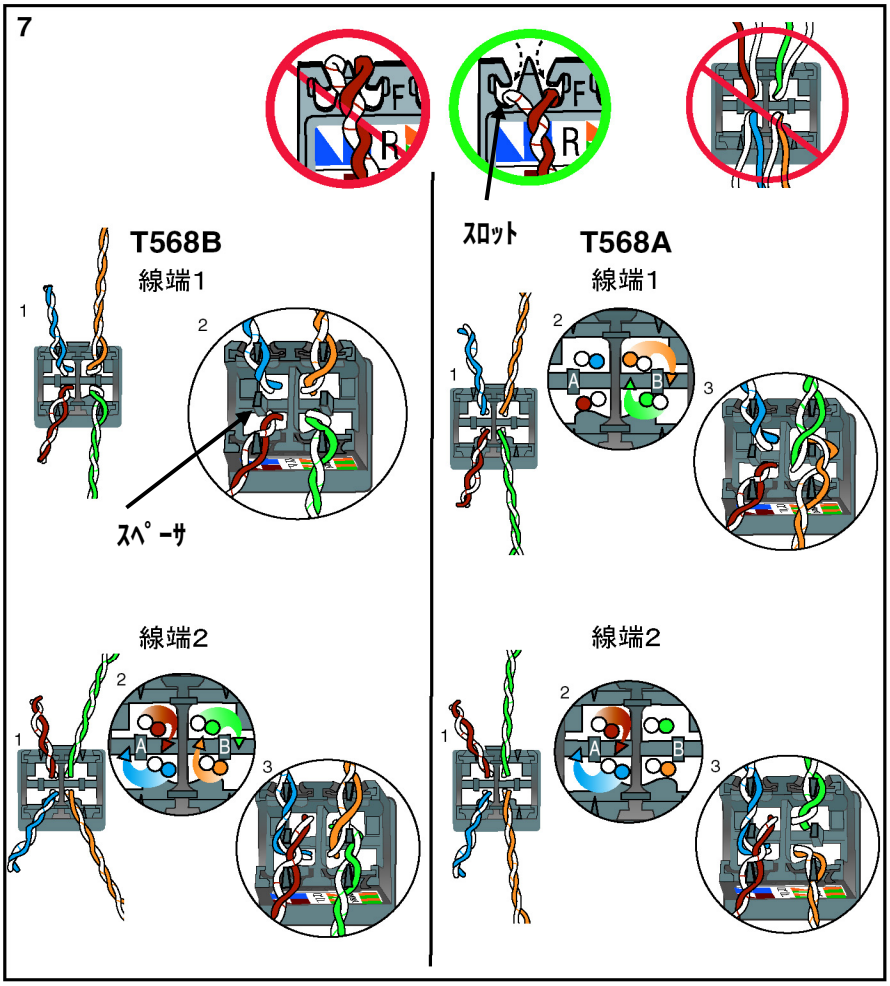
橙と緑の対から先にキャップへ挿入し、次に青と茶の対を挿入する

6



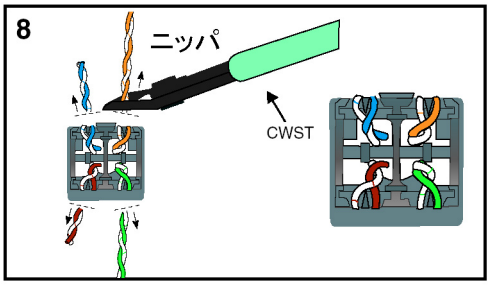
ケーブルを確りと挿入しストレインリリーフを指先で押込み、ケーブルを固定する

7

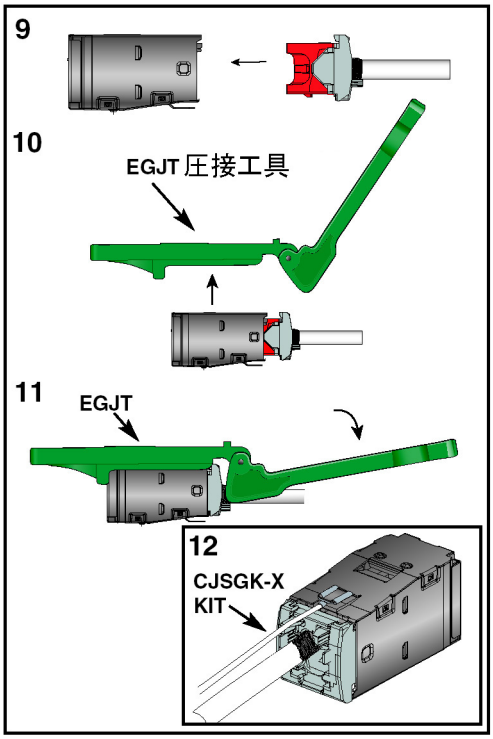


導線をより分けるスロットからの撚り戻し寸法は３mm以下とする
対をクロスさせてより分ける場合には仕切用のスペーサを介在するように導く
対のより分け作業ではスロットの中側に確りと挿入する

©Panduit Corporation Japan Branch



スロットへのより分けを終えたら色識別シールとの目視検査を行い良好であればニッパ等を使用してキャップの面に沿って切り揃える
これでキャップ側の予備加工が完了する



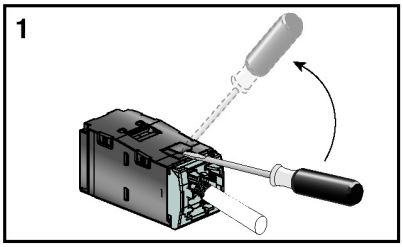
ハウジングとキャップの向きを確認してキャップを後方から挿入する

圧接補助工具はＥＧＪＴ（緑色）を使用し、ハウジングの底面に装着してレバーをキャップの後方に当てる

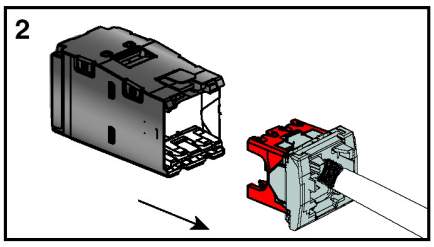
さらにレバーを操作するとその力で一括圧接される
（ＴＰスタイル用圧接補助工具ＣＧＪＴとは工具を装着する方法が異なるので注意してください）

ジャックをアウトレット端でグランディングする場合には部品番号：
ＣＪＳＧＫ－Ｘ　ＫＩＴをご利用ください

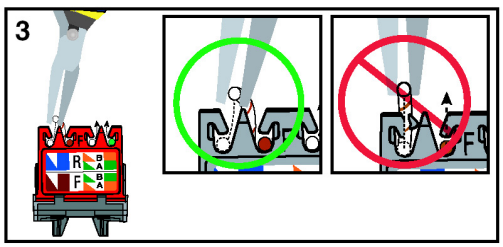
取外し手順



(-)小ドライバーを使用してキャップのラッチを解除しながらキャップを引く



ハウジング後方のキャップとケーブルを一緒に引き抜くようにする



導線を抜く時には細先の平ペンチを使用してスロットにキズ等が付かないようにする

TG スタイル　シールド付モジュラージャック

Part Numbers: CJS5E88TG/Y,CJS688TG/Y

©Panduit Corporation Japan Branch

注意事項：
1.仕様の性能を引き出すには、JIS X 5150 の施工ガイドラインに従ってください。
2.モジュラージャックは 22～26AWG で導体絶縁径 1.2mm 以下の単線及び導体より心線を使用できます。
3.モジュラージャックは同一サイズまたはそれより大きいサイズの導線を最小 20 回の再成端ができます。
4.性能や技術的なお問合せは、ネットワーク製品グループへご連絡ください。

全てのワイヤリングアクセサリと同様に、下記の概念に従ってください。
1.雷や嵐の中では通信ケーブルの施工は行わない。
2.特に水場で使用できるように設計されたコネクタを除き、濡れた場所での通信ケーブルの施工は行わない。
3.通信ラインがネットワークインターフェースから切り離されている時以外は、導線や端子を手で触れない。
4.通信ケーブルの施工や修理の際には警告文を良く読み、行ってください。

技術のお問い合わせ◆
パンドウイット ネットワーク製品グループ
http://www.panduit.co.jp/
E-mail:jpn-info-d@panduit.com
FAX:03-5762-7736
TEL:03-3767-7013

©Panduit Corporation Japan Branch

改版履歴

版数	改版日	変更内容	担当
01	2006.05.17	初版制定	山之内
02	2006.07.03	部品番号のＹ品番に対応	山之内
03	2006.08.30	取扱説明書に文書名称を統一、Ｙ品番を追加	山之内